

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】令和 6 年 1 月 5 日(2024.1.5)

【公開番号】特開 2022-108671(P2022-108671A)
【公開日】令和 4 年 7 月 26 日(2022.7.26)
【年通号数】公開公報(特許)2022-135
【出願番号】特願 2021-3802(P2021-3802)
【国際特許分類】

H 0 4 W 6 8 / 0 0 (2 0 0 9 . 0 1)

10

H 0 4 W 4 / 5 0 (2 0 1 8 . 0 1)

【 F I 】

H 0 4 W 6 8 / 0 0

H 0 4 W 4 / 5 0

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 12 月 22 日(2023.12.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の S I M (Subscriber Identity Module) を用いて通信するユーザ機器 (2 0 0) であって、

第 1 のネットワークにおける基地局 (1 0 0) と通信する通信処理部 (2 3 5) と、

第 2 のネットワークにおいて通信するための前記ユーザ機器における好ましい時間ギャップを示す情報を生成する情報取得部 (2 3 1) と、

を備え、

30

前記通信処理部は、

前記ユーザ機器が前記時間ギャップを有する場合に、前記時間ギャップを示す前記情報を含む U E A s s i s t a n c e I n f o r m a t i o n メッセージを前記基地局へ送信し、

前記ユーザ機器が前記時間ギャップを持たないことを前記ユーザ機器が示す場合には、前記時間ギャップを示す前記情報を含まない U E A s s i s t a n c e I n f o r m a t i o n メッセージを前記基地局へ送信する、

ユーザ機器。

【請求項 2】

前記通信処理部は、

前記時間ギャップを構成するための情報を含む無線リソース制御 (R R C) メッセージを前記基地局から受信し、

40

前記構成された時間ギャップを解放するための情報を含む R R C メッセージを前記基地局から受信する、

請求項 1 に記載のユーザ機器。

【請求項 3】

前記時間ギャップを構成するための前記情報は、前記時間ギャップの長さを特定するための情報、及び、前記時間ギャップの反復期間を特定するための情報を含む、

請求項 2 に記載のユーザ機器。

【請求項 4】

50

複数の S I M (Subscriber Identity Module) を用いるユーザ機器 (2 0 0) と通信する、第 1 のネットワークにおける基地局 (1 0 0) であって、

第 2 のネットワークにおいて通信するための前記ユーザ機器における好ましい時間ギャップを示す情報を含む U E A s s i s t a n c e I n f o r m a t i o n メッセージを前記ユーザ機器から受信する通信処理部 (1 4 5) と、

前記 U E A s s i s t a n c e I n f o r m a t i o n メッセージに含まれる前記時間ギャップを示す前記情報を取得する情報取得部 (1 4 1) と、
を備え、

前記ユーザ機器から受信される U E A s s i s t a n c e I n f o r m a t i o n メッセージに前記時間ギャップを示す前記情報が含まれない場合には、前記ユーザ機器が好ましい時間ギャップを持たないことが前記ユーザ機器により示される、
基地局。

10

【請求項 5】

前記通信処理部は、

前記時間ギャップを構成するための情報を含む無線リソース制御 (R R C) メッセージを前記ユーザ機器へ送信し、

前記構成した時間ギャップを解放するための情報を含む R R C メッセージを前記ユーザ機器へ送信する、

請求項 4 に記載の基地局。

【請求項 6】

前記時間ギャップを構成するための前記情報は、前記時間ギャップの長さを特定するための情報、及び、前記時間ギャップの反復期間を特定するための情報を含む、

請求項 5 に記載の基地局。

20

【請求項 7】

複数の S I M (Subscriber Identity Module) を用いて通信するユーザ機器 (2 0 0) により行われる方法であって、

第 1 のネットワークにおける基地局 (1 0 0) と通信することと、

第 2 のネットワークにおいて通信するための前記ユーザ機器における好ましい時間ギャップを示す情報を生成することと、

前記ユーザ機器が前記時間ギャップを有する場合に、前記時間ギャップを示す前記情報を含む U E A s s i s t a n c e I n f o r m a t i o n メッセージを前記基地局へ送信することと、

30

前記ユーザ機器が前記時間ギャップを持たないことを前記ユーザ機器が示す場合には、前記時間ギャップを示す前記情報を含まない U E A s s i s t a n c e I n f o r m a t i o n メッセージを前記基地局へ送信することと、
を含む方法。

【請求項 8】

前記時間ギャップを構成するための情報を含む無線リソース制御 (R R C) メッセージを前記基地局から受信することと、

前記構成された時間ギャップを解放するための情報を含む R R C メッセージを前記基地局から受信することと、

をさらに含む、請求項 7 に記載の方法。

40

【請求項 9】

前記時間ギャップを構成するための前記情報は、前記時間ギャップの長さを特定するための情報、及び、前記時間ギャップの反復期間を特定するための情報を含む、

請求項 8 に記載の方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

50

【補正の内容】

【0009】

本開示の一態様に係る第1のモバイルネットワークの基地局は、第2のモバイルネットワークにおけるユーザ機器へのページングを当該ユーザ機器が受信するための時間ギャップに関するギャップ関連情報を含む無線リソース制御(RRC)メッセージを上記ユーザ機器から受信する通信処理部と、上記RRCメッセージに含まれる上記ギャップ関連情報を取得する情報取得部と、を備える。上記RRCメッセージは、RRC Setup Completeメッセージ、RRC Reestablishment Completeメッセージ、RRC Resume Completeメッセージ、UE Assistance Informationメッセージ、RRC Connection Setup Completeメッセージ、又は、RRC Connection Reestablishment Completeメッセージである。

10

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0183

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0183】

これにより、例えば、上記第2のモバイルネットワークにおけるページングをUE 200が受信するための時間ギャップをUE 200が使用することが可能になる。とりわけ、上記時間ギャップのために定義されたRRCメッセージが使用されるので、UE 200は、より柔軟なタイミングで上記ギャップ関連情報を基地局100へ送信することができる。

20

30

40

50